

【授業科目】看護総合 Integration of Nursing

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
教員全員（助教以上）	4 年次 後 期	必 修	1	30	演 習	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する フィードバック方法	授業概要／既習科目である基礎、基礎専門、専門分野の学習到達度を振り返り、対象の健康課題を解決するために必要な知識・技術など、看護学に関する専門分野の既習知識を統合する力を養う。科学的根拠にもとづく思考力・判断力を強化するために、各専門分野の重要な知識・技術の定着を図る。 課題に対するフィードバック方法：専門領域ごとに看護師国家試験出題基準にもとづく課題を課し、全体の傾向や強化が必要な内容について、適宜解説をする。							
実務経験に関する 授業内容	看護に関わっている教員および看護に対する研究・教育をしている教員が、看護の対象となる人間・健康・環境・看護について、視聴覚器材や経験を交えながら指導する。							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	① 看護に関わる法律・施策、保健医療福祉のしくみについて説明できる。 ② 看護の対象となる個人・家族・集団の健康について説明できる。 ③ 事例の疾病、病態生理、治療、回復に向けた看護の根拠について説明できる。							
時間外学習に 必要な 内容・時間	第 1 回～15 回事前学習：各単元の専門科目に関する既習の学習内容から不足する知識を確認し、不明点や疑問点を整理しておく。(各 2 時間) 第 1 回～15 回事後学習：事前学習での不明点や疑問点を確認しながら、模擬試験、各単元の内容に関連した国家試験過去問題や予想問題に取り組み、知識・技術の定着を図る。(各 2 時間)							
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2 単位 1 5 回科目の場合：予習+復習 4 時間／1 回）（1 単位 1 5 回科目の場合：予習+復習 1 時間／1 回）（1 単位 8 回科目の場合：予習+復習 4 時間／1 回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第 1～3 回 看護職として必要な基礎知識と技術 第 4～5 回 基礎看護学 第 6～7 回 成人看護学 第 8 回 老年看護学 第 9 回 小児看護学 第 10 回 母性看護学 第 11 回 精神看護学 第 12～13 回 地域・在宅看護学 第 14～15 回 公衆衛生（健康支援と社会保障制度）							教員全員 (助教以上)
評価方法 評価基準	定期試験 100%で評価する。							
教科書	なし			参考書等	なし			
学生への 助言等	4 年間の学びの集大成となる科目です。これまで学修してきた過程を振り返りながら、看護専門職に求められる確実な知識・技術を定着できるようにしていってください。							